

第 229 回

クラシックファンのためのコンサート

2022年 3 月 17日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

秋山 裕子 チェンバロリサイタル

共演：バロックリコーダー 井上 玲

〈プログラム〉

ヘンデル

メヌエット イ短調 HWV434

シャコンヌ ト長調 HWV435

J.S.バッハ

リュート組曲 ホ短調 BWV996

ヘンデル

リコーダーソナタ イ短調 HWV362

ラモー

クラヴサン曲集より

鳥の呼び声/ミュゼット/タンブーラン/めんどり



第229回は秋山裕子氏をお迎えし、チェンバロリサイタルを行いました。バロックリコーダーの井上玲氏との共演もあり、ヘンデルやバッハ、ラモーなどバロック時代の曲が演奏されました。チェンバロはとても繊細な音量の楽器ですが、その響きはとても豊かで心地良く、リコーダーも優しい音からシャープな音まで様々な表現を聴かせていただきました。それぞれの楽器の歴史や仕組みなどの解説もあり、さらに興味が深まりました。ソロのみならず、お二人の息の合ったアンサンブルも素晴らしく、ホールのクラシックな雰囲気と相まって、昔の貴族のサロンコンサートを味わえたようなひとときでした。

〈ご来場者のアンケートより〉



- 昔のヨーロッパ貴族のサロンコンサートのように優雅な気持ちになりました。
- 演奏会でよくバッハ、ヘンデルを聴く機会がありますが、本日の演奏は一味も二味も違い、不思議な気持ちです。
多分、350年くらい前には今日のような演奏会を楽しまれたのでしょうか。
- ラモーの「めんどり」はとても楽しい鳥の合唱が聴こえて来るようでした。チェンバロは改めて聴かせて頂いて、パイプオルガンのような響きがあったように思いつくり驚きました。
- チェンバロの音の美しさは勿論、形の優美さを愛しますが、貴族趣味と言われて壊された歴史を知ると悲しく、一層愛しくなります。本当に優雅で素敵な音色です。リコーダーの聴き比べも貴重で素晴らしい時間でした。

NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp